

地域の森林資源を活用したエネルギーの地産地消により 林業活性化の全国モデルを目指す取組み

木材価格の低迷
林業従事者の減少
間伐材の放置

里山の荒廃

エネルギーの
地産地消

平成26年2月 石川県、石川県森林組合連合会、地元企業の3者で
「林業に関する包括連携協定」を締結

石川県 … 間伐材をチップ化する機械や木質バイオマスボイラーの初期費用を補助。

かが森林組合（地元の森林組合） … 地域の間伐材を収集、チップ化し、地元企業の工場に供給。

地元企業 … チップ化した間伐材を木質バイオマスボイラーの燃料に使用し、発電（工場内の照明）や
冷暖房などに活用。

里山の保全



林業の収益性向上

石川県、県森林組合連合会、地元企業の3者が連携した林業活性化の取組



《概要（計画）》

- ①木質チップ使用量：約7,000トン／年、②年間利用エネルギー量：約1,000万kWh（発電＋熱）
- ③主な構成設備：バイオマスボイラ4台、蒸気コンプレッサ、蒸気式発電機2台、熱交換器等
- ④購入電力削減効果：約150万kWh／年

お問合せ先

石川県農林水産部森林管理課 〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL076-225-1643